

2014 年 10 月 1 日

(私は最近、癌の漢方鍼灸免疫療法を始めました。それについてはこちらを読んでください。この理論で初めて癌が治った最初の症例であります。私にとっては衝撃的な癌完治の手記です。もちろんこの癌を治したのも、私ではなくて患者さんの免疫であるということは言うまでもありません。

・ご本人の手記

松本先生お元気ですか。いつもお世話になっています。昨年 11 月に松本医院をたずねてから、10 ヶ月がたとうとしています。松本先生と出会ってこの数ヶ月少しずつですが、身体にうれしい変化がでています。手記を書きたいなと思いつつながら自分の文章に自信がなくて遅くなってしまいました。

私は二年前、子宮がんと卵巣がんが見つかり摘出手術を受けました。リンパ節転移はないとのことで少し安心していましたが、仕事に復帰してすぐ再発してしまいました。担当医師からはすぐ抗がん剤治療をすすめられましたが、抗がん剤を身体に入れる怖さと、再発だと信じられなくて再検査をしてもらったり、セカンドオピニオンを受けたりしていました。しかし、抗がん剤治療以外の方法は延命治療や高額のものばかりで、身体はどんどん弱っていくのにどうすることもできなくて、とてもつらかったです。

そのころ、主人が松本先生の HP をみつけすぐ行くことになりました。通っていた病院とはちがう雰囲気にはじめはとまどいしましたが、患者さんのおはなしが聞こえてくると、不安ななかにも何かわくわくするじぶんがありました。診察が始まると、先生の一言一言がこころにしみて、泣きそうになるのをこらえていました。我慢していた心を慰め認めてくれたことがうれしくて、いままで感じたことない(大丈夫信じられる)という気持ちいっぱい帰路につきました。それから毎日漢方薬を煎じ、お灸、ヘルペスの薬を続け、松本先生がおっしゃった「身を捨てて浮かぶ瀬もあれ」を思い出しながら、二ヶ月くらいはあまり変化を感じることなく、続けることがしんどいこともありました。くじけそうなとき松本先生の元気な声を聞いて「いかんいかん」とひきもどしてもらい、がんばることができました。

そうこうしている内、自分の体調が安定していることに気がつきました。あれ？私動ける時間増えたな、食欲も出てきたうれしいと腫れて硬くなったお腹を見つめていると、少しやわらかくなっていたんです。それから目に見えてお腹の腫れが小さくなりました。この劇的な変化に驚きながら、ゆっくり自分の身体をいたわり心にも本当の意味で向き合えるようにな

ってきたように思います。(再発した癌病巣が小さくなっていったのです。)

こんなに変わったのは松本先生のおかげです。いつも「病気は医者が治すのではない。あんたが治すんや」と愛のある言葉で諭してくれましたね。松本先生に出会えてなかったら弱っていくじぶんが恐くて想像できません。本当にありがとうございます。感謝の思いを伝えたくて書き始めたのですが、まだ十分ではなくて、身体の変化ももっとお伝えしたいです。これからもよろしくおねがいします。

(この方の卵巣癌の際に見られるチューマーマーカー(癌マーカー)の変化を下に記します。

初診の時の2013/11/8では、CEA 27.3ng/ml(正常値は5.0以下)であり、CA19-9は263U/ml(正常値は37以下)でした。

2014/1/24でCEAが26.2、CA19-9が342でありましたが、

2014/9/10で驚くべきことにCEAが3.2まで下がり、さらにCA19-9は25まで下がっていました。

彼女はすぐにでも仕事ができる気持ちになりました。彼女の子宮癌と卵巣癌に対する治療は漢方煎じ薬と抗ヘルペス剤だけでありました。なぜ抗ヘルペス剤を出したのでしょうか?近頃の癌の治療は、必ず抗癌剤の点滴の中にステロイド剤を入れます。なぜでしょうか?癌専門医は「抗癌剤の副作用を除去するため、さらに癌の炎症を除去し、とりわけ痛みを軽減しさらに、吐き気や嘔吐をとるため」と言います。私はステロイドを抗癌剤とともに入れることは全く間違った治療だと考えています。なぜならば、ステロイドは免疫を落とすのみならず、ヘルペスウイルスをどんどん増やし続けるからです。この世には癌を自分で治したという人がたくさんいます。このような人たちはどうやって癌を治したのでしょうか?まさに自分の免疫だけであります。ステロイドを入れることによって、ひょっとすれば自分の免疫治せる癌が治る可能性を全て奪い去ってしまいます。と同時に、ステロイドによって免疫が抑えられている間に神経に増えたヘルペスが、患者の免疫が少しでも回復した時にこのヘルペスとの戦いが始まり、様々な症状が出てくるのです。[ヘルペスについてはヘルペスのコーナーを](#)
[読んでください。](#)

近頃、私の医院には漢方免疫療法を癌に対してやってもらいたいという患者さんがたくさん来られるようになりました。この女性はまさに私の漢方と鍼灸による免疫療法によって治った第1号の患者さんです。この患者さんは癌患者に見られる様々な自覚症状もなくなり、かつ触ってみても癌病巣が縮小してしまい、かつ癌マーカーが正常値になってしまった最初の症例であります。やはり癌も最後に治すことができるのは自分の免疫であるということを図らずも証明できたのです。しかもほとんど全ての癌患者に見られるしんどさも抗ヘルペス剤によって消えてしまったのです。今後、ヘルペスと癌の関連についても調べていく必要があると考えています。

